



皆さま、ご安全に！村田きょうこです。

6月30日に「骨太の方針 2026」(原案)が発表されました。昨秋、高市首相が就任時に公表した「責任ある積極財政」と「強い経済」が、政府の方針として反映されています。

一方、戦略17分野の中には、基幹労連やJAMに関係の深い産業も多く含まれています。これらの分野が着実に成長軌道に乗るよう、十分な投資内容となっているかを見極めていきます

※骨太の方針:正式名称を「経済財政運営と改革の基本方針」といい、政府が毎年6月ごろに策定する、翌年度の予算編成や国政運営の大まかな方針のこと。

質問の動画はこちらをご覧ください。⇒



【国会質問】LPガス容器業界の課題訴え 価格転嫁支援求める



JAM高圧容器労協からの要請を受け、村田きょうこ参議院議員は、7月9日の参議院経済産業委員会でLPガス容器業界の課題を取り上げました。

LPガス需要は減少が見込まれる一方、容器の長寿命化により新規需要が伸びにくい状況です。また、安全規制により差別化が難しく、原材料費やエネルギー費、人件費の上昇分を価格へ転嫁しにくい実態について訴えました。

これに対し、経済産業大臣は業界の厳しい現状を認識しているとしたうえで、価格転嫁の実態把握と必要な対応を進める考えを示しました。

質疑後には、経済産業省が加盟企業へ価格転嫁の状況をヒアリングしたとの

報告もあり、現場の声を国政へ届ける重要性を改めて実感しました。



【振り返り】今国会を振り返りました

詳細はこちらをご覧ください。⇒

特別国会が、7月25日に閉会しました。今国会を「村田きょうこチャンネル」で取り上げました。

動画でコメントした内容をまとめました。

懸念ポイント	村田議員による解説
審議不足への懸念	与党による「数の力」を背景とした審議時間の短縮傾向や、首相の国会出席頻度の低下について言及。物価高対策をはじめとする重要課題への十分な議論が不足している現状に強い課題意識を示しました。
食事補助の非課税限度額の引き上げ推進	企業が従業員に支給する食事補助(食事手当)について、約40年間にわたり見直されていない非課税限度額の引き上げを働きかけている旨を報告しました。長引く物価高の中で働く人の実質的な生活支援につながる税制改正の必要性を主張しました。
通勤手当に対する社会保険料課税問題への追及	実費弁償の性質を持つ通勤手当が社会保険料の算定標準報酬月額に含まれることで、手取り額が減少する不合理な事態(通勤手当増加による社会保険料負担増)を指摘しました。働く人のモチベーション阻害を防ぐ観点から制度の見直しを求めました。
大学入学金の「二重払い」問題解消に向けた取り組み	複数の大学を受験する際、併願校への入学辞退時にも戻らない入学金の「二重払い」問題に触れ、受験生や保護者の金銭的負担軽減に向けた是正処置の必要性を強調しました。

秋の臨時国会に向けた決意	特別国会での活動成果や積み残された課題を踏まえ、生活者や働く者の視点に立った政策実現のため、秋に予定される臨時国会においても引き続き国会議論へ注力する姿勢を示しました。
--------------	--

【オルグ】静岡へいきました。

7月 22-23 の2日間で JAM 静岡の加盟組合の皆さんを訪問させていただきました。

訪問単組：藤田鐵工労働組合、静岡電装労働組合、電業社機械製作所労働組合、SHODA 労働組合、
NTN 労働組合磐田支部、日鉄鋼線労働組合

訪問地区協：東部地区協 6 単組 1 地区協 150 名

オルグ内容

- ・会社概要説明 ※会社側からご説明がありました。
- ・工場見学 ※工場見学の誘導・工程などの説明は全て会社側の役員よりしていただきました。
- ・使側との意見交換 ※40～50 分程度

意見交換内容

人手不足の解消、外国人労働者について、賃上げしても手取りが増えない(税制改革)、円安問題
最賃について、価格転嫁(エネルギー、労務費)、中小企業支援、国内需要減退、暑熱対策補助金
事業継承、販路開拓、中東情勢など



【発行元】JAM 本部 政策政治グループ
〒105-0014 東京都港区芝2-20-12
11F
[TEL:03-3451-2451](tel:03-3451-2451) 公式サイト
⇒<https://murata-kyoko.com/>